

2023/3/7 (火)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 8章 31-32節 (新約聖書182頁)

イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

自由

わたしたちは女性か男性かという生物的な性差（セックス）があります。これは生まれながらあるものです。誰も選んで生まれることはできません。こうして誰もが科学的には女性か男性かを判断できます。これを「事実」と言います。

しかし女性も男性も社会や文化、環境によって「女らしさ」「男らしさ」（ジェンダー）に縛られます。例えば女性は家で家事を、子どもを育てる、男性は外で仕事をするなど、事実を解釈したもの、これを「真実」と言います。一人ひとりでも違います。

それに対して、イエスは自らを「わたしは真理である」と言い、「真理はあなたたちを自由にする」と言いました。例えばイエスは汚れていると言われた病人に「清くなれ」と言いました。真理であるイエスは病にある人を赦し、解放しました。

女性であるという事実、周囲から押しつけられる真実、しかしどんな時にも、どんなところでも変わらない真理であるイエスがあなたと共におられます。イエスの言葉に耳を傾け、共に祈る時、イエスはあなたを自由にすると言っています。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちは性別を選んで生まれることはできません。それなのにジェンダーによって偏見や差別を与えてしまいます。明日は「国際女性デー」です。どうかジェンダーの束縛から解放され、共に生きる喜びと自由を与えてください。いま英和生はテストが終わりました。テストは終わりではなく始まりです。どうか結果を謙虚に受けとめ、次の学びへの励みとしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン